

第1号議案 平成26年度事業報告について

【第四次3カ年基本方針（平成24年度～26年度）】

- 1) 横浜市災害ボランティアセンターの組織体制の構築
- 2) 区災害ボランティアネットワークの支援
- 3) 各機関との連携強化
- 4) 災害時のボランティア活動の普及啓発
- 5) 災害情報等の収集・提供及び情報システムの構築
- 6) 横浜災害ボランティアネットワーク会議の組織体制の強化

【平成26年度実施事業】

1) 横浜市災害ボランティア支援センター（以下、市災ボラ支援センター）の組織体制の構築

① 災害ボランティア図上シミュレーション訓練および市・区災害ボランティアセンター設置訓練の同時開催

市災害ボランティア支援センターと区災害ボランティアセンターの役割の確認および他区との連携を目的として、災害ボランティア図上シミュレーション訓練を行いました。また、区災害ボランティアセンターの設置を検討するにあわせて、市災ボラ支援センターの設置の訓練も行いました。

日 時	平成26年12月20日（土） 9：30～12：00
会 場	横浜市健康福祉総合センター 8階 会議室8A・8B・8F
参加者数	56名（スタッフ含む）
内 容	・ 被害状況を共有するためD I Gにて図上訓練 ・ 各ブロックへ状況付与を行ったシミュレーション訓練 ・ 各区災ボラと市災ボラ支援センターとの情報伝達の訓練 ・ 市災ボラ支援センターと横浜市市民局との防災無線での連絡訓練
協 力	N P O法人神奈川災害ボランティアネットワーク

② 市域団体との連携

平時や災害時の連携の強化として、横浜災害ボランティアネットワーク会議の市域団体の会員39団体に対して、今後の連携に向けたアンケート調査を行いました。

2) 区災害ボランティアネットワーク（以下、区災ボラネット）の支援

① 区災害ボランティアネットワーク連絡会の開催

各区災ボラネットの連携強化を目的として、ブロック別連絡会と全区を対象とした全体会を行いました。

ブロック別連絡会は、市内18区をA～Dの4ブロックに分けて、連携や課題の共有等を目的として、近隣区ごとに年2～3回の連絡会を行いました。

全区を対象とした全体会は、各ブロック別連絡会の年間の活動報告や他ブロックとの情報交換を行うことでブロック別連絡会をより有益なものとする、また、各区の情報交換を行うことで各区の連絡会を発展させていくことを目的として実施しました。

<参考>

Aブロック：鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区

Bブロック：港南区、磯子区、金沢区、戸塚区、栄区

Cブロック：保土ヶ谷区、旭区、泉区、瀬谷区

Dブロック：港北区、緑区、青葉区、都筑区

【災害ボランティアネットワーク連絡会・全体会】

日 程	平成27年3月2日(月) 18:00～20:00
会 場	健康福祉総合センター 8階 会議室8A・8B
参加者数	45名
内 容	①各ブロック別連絡会の実施状況報告 ②情報・意見交換会

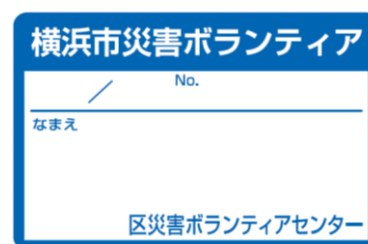
②各区災害ボランティアネットワーク活動情報のとりまとめ

各区災ボラネットの活動情報や活動事例等の情報を集約し、会議・研修等の場を通じて他区との情報共有を図りました。

③災害ボランティア用名札シールの配布

各区シミュレーション等にて活用するための災害ボランティア用名札シールを配布しました。

配布数：2,250枚（14区）



【名札シール】

3) 各機関との連携強化

①市及び区での協定書・マニュアルの整備や資機材等の配備の円滑な促進

横浜市防災計画の推進を図るべく、横浜市と連携して各区の状況や課題について会議などの場で共有することで、区ごとの円滑な促進へとつなげました。

②市域団体との連携(再掲 P1、2)②)

③市域を越えた連携の強化

市域を越えた団体との連携や情報交換等を目的として、NPO法人神奈川災害ボランティアネットワークおよび県・他都市社会福祉協議会との連携をすすめました。

4)災害時のボランティア活動啓発

①会員向け研修会の開催

平成26年度総会開催前に、会員向け研修会を開催しました。

日 時	平成26年6月25日(水) 18:00~19:00
参加者数	58名
講 師	東京ボランティア・市民活動センター 職員 加納 佑一氏
内 容	○大島社会福祉協議会災害ボランティアセンターでの実践 ・台風26号による災害発生後(10月18日~2月27日)の災害ボランティア実践について ・災害ボランティアセンターについて、時間軸に沿った段階ごとの支援や運営について学ぶ。

②支援者向けコーディネートスキルアップ研修の開催

災害ボランティアセンターの運営に関わる方々(行政・社協・区災ボラネット・市災ボラ会員等)を対象に、災害ボランティアコーディネータースキルアップ研修会を実施しました。

日 時	平成27年2月3日(火) 9:00~12:00
参加者数	114名(行政:57名、社協・災ボラ:57名)
講 師	社会福祉法人 南三陸町社会福祉協議会 事務局長 猪又 隆弘氏
内 容	○災害ボランティアセンターの運営とコーディネートについて ・東日本大震災後の災害ボランティアセンターの運営について、“コーディネート”の視点で学ぶ。 ・現実と想定との相違について考えるきっかけとなった。アンケート中でも、「現実にはすぐに災害ボランティアセンターを立ち上げることができないということが分かった」「コーディネーターが交代して運営していかなければいけないということ、長期にわたる運営も想定しなければならない」「訓練の内容を地域性に応じて工夫しなければいけない」などの意見が見られた。

③子どもを対象とした災害ボランティアに関する取組み

子ども（小学校高学年～中学生）を対象とした災害ボランティアに関する取組みについて実行委員会を組織し、平成27年度の実施に向けて「子ども災害ボランティアコーディネーター講座」や「子ども版クロスロード」「ぼうさいカルテット」などの検討を行いました。

<子ども版クロスロード>

No	あなたの状況	条件	問題	どちら
1	クラスの中で係を選んでいます	普段はゲームなどで一人で遊ぶことが好きなので、クラスの行事やいろいろな係りにはなりたいありません。	それでも係りになる？	Yes(なる) No(ならない)
2	おしゃれな女の子です	おばあちゃんから買ってもらったお気に入りのランドセルです。いろいろアクセサリを付けて可愛らしくしたいのですが、防災用のブザーは付けてありません。	格好は悪いと言われたものはつける？	Yes(つける) No(つけない)
3	習い事に通っています	習い事のスイミングスクールに行っている時に地震が起きました。プールのコーチ達と一緒に安全な所に行くことになりました。ただ、お母さんとは地震が起きたら、その場所で待っていてと言われていました。	コーチについていく？	Yes(ついていく) No(ついていかない)
4	海辺近くの住民です	地震による津波が最短10分で来るとされる所に住んでいます。今、地震が発生してすぐに避難を始めるが、近所の一人暮らしのおばあさんが気になります。	まず、おばあさんを見に行く？	Yes(見に行く) No(ゆかない)

<ぼうさいカルテット>

	タイトル	キーワード			
①	地震の備え	耐震補強	家具等の固定	防災頭巾	7日分
②	津波がきたら	すぐ避難	引き返さない	高台	てんでんこ
③	避難訓練	点呼	いっとき避難場所	地域防災拠点	ハザードマップ
④	火災が起きたら	初期消火	通報(119・近所への通報)	姿勢を低く	濡れタオル
⑤	地震が起きたら	shake out	ラジオ	171(災害伝言ダイヤル)	広域避難場所
⑥	AED	心肺蘇生	119	音声の指示	設置場所の確認
⑦	止血	圧迫	包帯	血液に触れない	心臓より高く
⑧	やけど	流水	着衣のまま	みずぶくれ	雑菌を寄せ付けない
⑨	災害ボランティア	義援募金	救援物資	炊き出し	自発的活動

5) 災害情報等の収集・提供及び情報システムの構築

①会報「NEWS LETTER」の発行

横浜市との協働事業として、会報の発行を行いました。

《装丁》 A4版 2色 4ページ

《発行部数》 2,500部×2回

《発行時期》 平成26年9月(No. 51)、平成27年3月(No. 52)

《内容》 【No. 51】

- 横浜災害ボランティアネットワーク会議 平成26年度総会
および新役員紹介
- 区災害ボランティアネットワーク ブロック別連絡会について
- 災害ボランティア図上シミュレーション訓練について

【No. 52】

- 横浜市災害ボランティア支援センターホームページについて
- 災害ボランティア図上シミュレーション訓練について
- コーディネータースキルアップ研修会について
- 区災害ボランティアネットワーク連絡会(全体会)について

②横浜災害ボランティアネットワーク会議ホームページの運営

横浜災害ボランティアネットワーク会議ホームページにて、災害ボランティアに関する研修や運営委員会の議事録などの情報提供を行いました。

《更新回数》14回

《内 容》○ネットワーク会議事業の周知、報告
○平成26年度運営委員会の報告 等

③横浜市災害ボランティア支援センターホームページの改修

平成25年度の構築した横浜市災害ボランティア支援センターホームページについて、閲覧者がより簡潔に情報を取得できるよう、レイアウトの整理を行いました。

【支援センターHP】

横浜市災害ボランティア支援センター
Yokohamashi Saigai Volunteer Shiencenter

平 231-6482 横浜市中区船木町 1-1
横浜市健康福祉総合センター
045-201-8620
saivol@yokohamashikyo.jp

各区災害ボランティアセンター情報 お知らせ ボランティアを始める前に よくある質問 各区センター実績 行政情報等

当ホームページについて
2014年12月20日
このHPは、災害時に横浜市災害ボランティア支援センターが立ち上がった際に運用するHPになります。平常時に情報が更新されることはありません。

各区災害ボランティアセンター情報一覧

横浜市の各区の場所は[こちら](#)を参照

区	情報	場 所・アクセス	
鶴見	受付時間: 9:00～16:00 市内のみボランティア受付	鶴見大学 体育館 TEL: 510-1656 / FAX: ※JR「鶴見駅」徒歩5分	MAP
神奈川	区災害ボランティアセンターは立ち上がっていません	神奈川区福祉保健局5階 TEL: 311-2014 / FAX: 313-2420 反町1-8-41(一)と支神奈川12階 ※東急東横線「反町駅」徒歩5分 ※JR横浜線「東神奈川駅」徒歩8分	MAP

6) 横浜災害ボランティアネットワーク会議の組織体制の強化

年間7回の運営委員会において、横浜災害ボランティアネットワーク会議が災害時に有効に活動できる組織になるべく、区災ボラネットと市災ボラネットとの役割等について検討を行いました。

7) その他

①平成26年度 総会

日 時	平成26年6月25日(水) 19:15~21:30
会 場	健康福祉総合センター 8階 会議室8A・8B
参加者	参加会員40組 (委任状:26組)
内 容	第1号議案 平成25年度事業報告について 第2号議案 平成25年度決算報告について 監事監査報告 第3号議案 会則の改訂について 第4号議案 役員改選について 第5号議案 平成26年度事業計画(案)について 第6号議案 平成26年度収支予算案(案)について その他 かながわ・よこはま防災ギャザリング実行委員会2015について *第3号議案については、採決の結果、賛成・反対いずれも有効投票数に届かず不成立となり、否決となった。その他の議案および審議事項については、承認された。

②横浜災害ボランティアネットワーク会議 運営委員会

委 員	計16団体：別紙 運営委員一覧参照 事務局：横浜市社会福祉協議会 オブザーバー：横浜市市民局市民活動支援課・横浜市市民活動支援センター
主 な 議 題	<p>第1回 4月15日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度総会および会員向け研修会について ・運営委員の意向確認について 等 <p>第2回 6月3日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員および運営委員について ・平成25年度事業報告・平成26年度事業計画について 等 <p>第3回 8月7日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NEWS LETTERの発行について(年間の回数、内容等) ・災害ボランティア図上シミュレーション訓練について ・こどもを対象とした災害ボランティアの取組みについて 等 <p>第4回 10月2日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアコーディネータースキルアップ研修会について ・各区のシミュレーション日程およびその他の取組みについて 等 <p>第5回 12月2日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアコーディネータースキルアップ研修会について ・災害ボランティア図上シミュレーション訓練について 等 <p>第6回 1月19日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアネットワーク連絡会・全体会について ・「NEWS LETTER No. 52」の掲載記事について 等 <p>第7回 2月19日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市域団体へのアンケート調査について ・平成27年度 図上シミュレーション訓練の日程について 等

③各区社会福祉協議会 災害ボランティア担当者会議

《第1回》

日 時	平成27年2月2日(月) 14:30~17:00
会 場	健康福祉総合センター 10階 社協会議室
参加者	10区11名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・研修『社協職員として考える災害ボランティアセンターの運営』 講師：社会福祉法人 南三陸町社会福祉協議会 事務局長 猪又 隆弘氏 ・市災害ボランティア支援センターと区災害ボランティアセンターの役割について

《第2回》

日 時	平成27年3月13日(金) 14:30~17:00
会 場	健康福祉総合センター 10階 社協会議室
参加者	8区8名
内 容	・災害ボランティアセンターの運営について ・他区との情報交換 等

8) 会員状況

(平成27年3月31日現在)

個人会員	16	人
団体会員	81	団体
合計会員数	97	組

*平成25年度末会員数：96組

横浜災害ボランティアネットワーク会議 運営委員(団体)

所属	氏名
公益財団法人横浜YMCA	梶谷 和宏
ガールスカウト横浜市連絡協議会	梅田 啓子
神奈川県生活協同組合連合会	丸山 善弘・山内 潔
公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会	平井 晃
ボーイスカウト横浜市連合会	宮崎 弘一
鶴見区災害ボランティアネットワーク	河西 英彦
南区災害救援ボランティアネットワーク	山片 悟
港南区災害ボランティアネットワーク	井出 恵章
保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク	飯島 一彦
旭区災害ボランティア連絡会	新野 純一
磯子区災害ボランティアネットワーク	竹内 照雄・山本 和廣
金沢区災害ボランティアネットワーク	外山 薫
港北区災害ボランティア連絡会	白井 保・宇田川 規夫
とつか災害救援活動ネットワーク	宮川 靖司
泉区災害ボランティア連絡会	乾 英昭
瀬谷区災害ボランティアネットワーク	辻川 和伸

事務局：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会

オブザーバー：横浜市 市民局 市民活動支援課

横浜市市民活動支援センター